

神戸大学海事博物館・春季展示

① 神戸大学サテライト巡回展（附属図書館 29 年度資料展）

近代神戸の航路をたどる

～開港 150 年を迎えて～

② 海事博物館ギャラリー展示

昔の神戸港 ～近代の移り変わり～

③ 海事博物館コレクション展

- ・神戸における海技者教育 100 年のあゆみ
- ・海と船の過去・現在・未来

2018.3.26 Mo.～6.29 Fr.

入館無料

開館日時：毎週月・水・金曜、13:30～16:00（祝日を除く）

ただし、4.28 Sa.～5.6 Su.は休館

会場：神戸大学海事博物館（深江キャンパス）



神戸大学海事博物館の2018年春季展示をご案内いたします。

神戸大学附属図書館は、所蔵資料をひろく紹介する資料展を、毎年開催しています。今回、2017年度に神戸大学附属図書館・社会科学系図書館にて開催された資料展（企画展示）を、神戸大学サテライト巡回展の一環として、海事博物館会場にて開催する運びとなりました。なお会場の都合により、内容構成を一部再編してパネル展示としています。附属図書館の代表的なコレクションである「住田文庫」「神戸開港文書」、およびこれらデジタルアーカイブの情報も織り交ぜ、開港を機とした近代神戸の歩みをご紹介します。

また同時開催としまして、神戸市元町で開かれた絵葉書写真展「昔の神戸港」（2017年12月8日～12月19日、於・フォトカフェ）を、所有者の御厚意によりギャラリー展示の形でご紹介いたします。こちらは原資料の高精細デジタル複製により、展示をいたします。ほかにもコレクション展として、神戸大学海事科学研究科・海事科学部の前身以来100年に渡る海技者教育の歴史、あるいは江戸時代から現代にいたる海・船・人の多様な資料をごらんいただけます。公益社団法人・日本船舶海洋工学会関西支部の造船資料保存委員会と、海事博物館造船資料保存グループによる貴重な造船資料も展示中です。

神戸が開港し、兵庫県が成立した150年の節目にあたり、近代神戸を改めて振り返る機会となるよう企画いたしました。どうぞ、ごゆっくりご観覧ください。

神戸大学海事博物館・春季展示【概要】

- ① 神戸大学サテライト巡回展（附属図書館29年度資料展）

近代神戸の航路をたどる ～開港150年を迎えて～

- ② 海事博物館ギャラリー展示

昔の神戸港 ～近代の移り変わり～

- ③ 海事博物館コレクション展

神戸における海技者教育100年のあゆみ／海と船の過去・現在・未来

会 期：2018（平成30）年 3月26日（月）～6月29日（金）

毎週月・水・金曜日、13時30分～16時（祝日をのぞく）

ただし、4月28日（土）～5月6日（日）は休館

入 場：無 料

場 所：神戸大学海事博物館

〒658-0022 兵庫県神戸市東灘区深江南町5丁目1-1

阪神深江駅より徒歩8分

主 催：神戸大学海事博物館、神戸大学附属図書館

協 力：一般社団法人海洋会、清水裕士

問合せ：神戸大学海事博物館 電話 078-431-3564（不在の場合は078-431-6200）

<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/>

表紙画像：「春日丸第一突堤離陸の状況」神戸市港湾部『神戸港大観』1923（大正12）年

